

## 第2回 身寄りがない方への意思決定支援研修会

講演：『身寄りのない方の意思決定支援のあり方』

～「身寄りがない人の入院及び医療に係る

意思決定が困難な人への支援に関するガイドライン」について～

講師：ゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏

○日 時：令和4年11月14日（月） 午後7時00分～9時00分

○場 所：Zoomを使用してのオンライン研修会

○参加者：59名（医療従事者）

【背景】身寄りがない方が増加し、医療現場では意思決定支援等の対応に苦慮している。医療職が関連するガイドラインについて学ぶ機会が少ない。

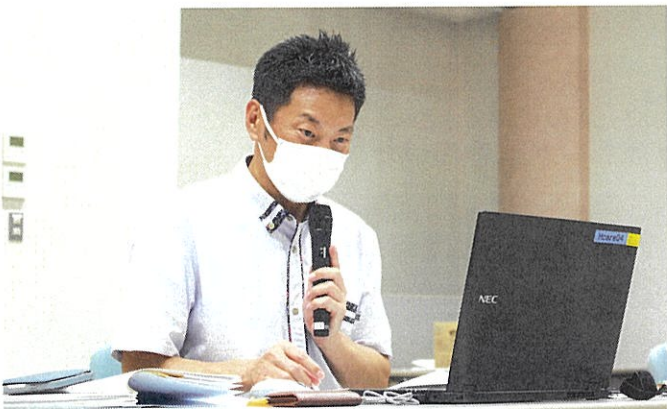
【目的】身寄りがない人（家族や親類へ連絡がつかない状況にある人、家族の支援が得られない人含む）が、安心して必要な医療・介護が受けられるために、『身寄りがない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインについて』について理解を深める。

【対象】那覇市内医療機関、行政等

【方法】Zoomでの研修会、事前アンケート（身寄りがない方への意思決定支援で課題に感じていることなど）への回答、当日質問への質疑応答

【結果】アンケートを参照下さい。

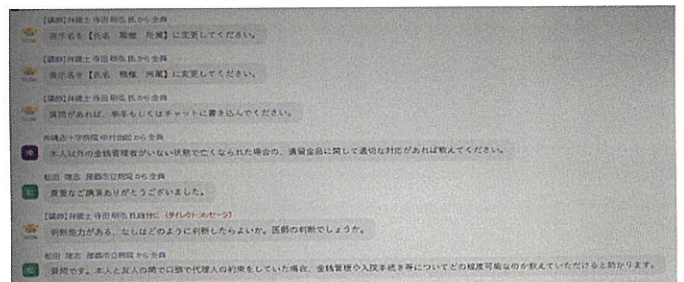
【考察】参加者は、MSWが最も多く16名（27.1%）、次いで医師14名（23.7%）であった。講演内容について「理解できたか」の質問には「とてもできた」「できた」が97%、「明日から業務に活かせるか」の質問には「とても活かせる」「活かせる」が89%であった。参加者より、「本人の意志の尊重、チームで最善の在り方を考えることをしっかり意識したい」、「法的にはどうなのか度々議論になるので貴重な話であった」、「話し合うことと記録の大切さを何度も伝えていくことが必要だと感じた」等の感想があった。今後は現場の困難事例を用いた検討会等を実施したい。



講師：寺田 明弘 氏



司会：嘉数 朗 氏

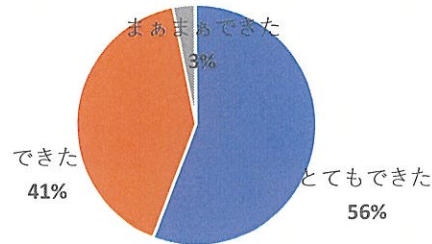


令和4年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業  
第2回 身寄りがない方への意思決定支援研修会 アンケート結果

日 時：令和4年11月14日（月） 19：00～21：00  
場 所：Zoomを使用しているオンライン研修会  
参加者：59名 回答者：27名（45.8%）

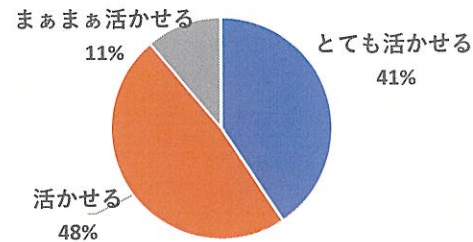
1.『身寄りがない方への意思決定支援のあり方』（講師：寺田 明弘 氏）は理解できましたか。

選択肢	人数	割合
とてもできた	15	56%
できた	11	41%
まあまあできた	1	3%
できなかった	0	0%
総計	27	100%



2. 明日からの業務に活かされますか。

選択肢	人数	割合
とても活かせる	11	41%
活かせる	13	48%
まあまあ活かせる	3	11%
活かさない	0	0%
総計	27	100%



3. 今回の研修会全体を通して、ご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

- ・身寄りのない、というだけで難しいケースと捉えてしまいがちですが、出てくる課題が予測できるだけで、ハードルは少し下がると感じました。
- ・どのクライアントも本人の希望や気持ちが1番大切であることがわかりました。
- ・ケース毎に対応方法が整理されていて、分かりやすくとても助かりました。
- ・医療機関、行政との連携するシステムづくりを早期に構築してもらいたいと思います。
- ・とても難しい問題が多く、勉強になりました。
- ・成年後見制度の後見人決定に至るまでの裏側が知れてよかったです。ありがとうございました。
- ・最近、本当に身寄りの無い方が増えています。後見人制度は、とっつきにくくあまり関わりたくありませんでしたが、この研修を受けて、積極的に利用した方が良いと感じました。貴重なお話ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすい講演でした。後見人制度を上手く活用する事で解決出来る事が多い事を学びました。「悪徳高齢者サポートサービス」に引っかかる前に、早めに支援に取り組む事が重要です。
- ・大変貴重な研修会でした。現在関わっているご利用者についても、意思決定支援や後見人制度など知識を持って関わる事が大切だと痛感しています。後見人制度についてももう少し学びたいと考えています。ありがとうございました。
- ・身寄りがない意思決定ができない患者の転院等については、行政が責任を持つべきだと思うが、実際には病院任せで動いてくれないことがある。行政への働きかけをお願いしたい。

- ・非常に勉強になりました。自分自身のなかで何となく認識していた点を、分かりやすく整理立ててご教授いただきました。基本となる本人の意思尊重、意思決定をチームで最善のあり方を考える、ということをしっかり意識していきたいと思います。
- ・わかりやすい講義ありがとうございました。身寄りなしの方でも平等にサービス利用、制度活用ができ、権利侵害なく安心して過ごせる地域システムが構築される必要性を感じています。
- ・医療現場では、その患者さんに判断能力があるのかないのかの判断が難しい。意思疎通ができて理解力がどの程度あるのか、意思決定できると誰が判断するのか。先生がおっしゃった裁判所の診断書を調べてみようと思う。
- ・重症心身障害児施設でサービス管理責任者をしています。今回の講義は大変興味がありましたので受講させていただきました。今後の業務に活かせるよう努めていきたいと思います。今後、気になる事など出てきた際には寺田先生に質問したいと思いますのでよろしく願いいたします。本日はありがとうございました。
- ・普段の業務を行う中で、支援者が誘導するケースが多くなっていることを改めて実感しました。本人と一緒に実現を、というところを意識していきたいと思います。講演ありがとうございました。
- ・身寄りがないと言う理由で退院先の施設探しに難渋するケースがある。次回は、このテーマで研修を行って欲しい。
- ・沖縄県の特徴的な家族関係や保証人の欄についての説明などとても勉強になった。沖縄は離島で子供が疎遠や離婚など複雑な家族が増える中、これからも身寄りが居ない人が増えていくことは想像つくが、どの人と連携を取ればいいのか、どの人に話を聞けばいいのか分かった。
- ・貴重な講演ありがとうございました。現在使用している文書など、今一度見直す必要がありそうです。人生の最期を少しでも本人の意思にそって行えたならと思います。私たちが微力ではありますが日々活動していくことでこれから先、全ての方々がそのように対応していくことができる環境になったらいいなと思い業務をしています。先生の講演を聞き、明日も頑張っていこうという気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・寺田先生、研修会スタッフの皆様、本日は貴重なご講演ありがとうございました。法律の観点からお話を聞く機会が少なく、大変勉強になりました。身寄りなしの方を支援するにあたり、本人であればどのような意思決定を行うかを考えると同時に、法的にはどうなのかということも度々議論に挙げられます。その中でお話を聞けることは大変貴重であり、今後もこのような研修会を通して連携を深めていけたらと思います。ありがとうございました。
- ・意思決定支援やACPについて研修等で学ぶ機会は増えてきましたが、実際の現場では忙しいという理由で、医療ケアチームで何度も話し合うということが出来ていないように感じる場合があります。このような研修会を通して、話し合うことと記録の大切さを何度も伝えていくことが必要だと感じました。
- ・本日の貴重なご講演ありがとうございました。丁寧な説明でとてもわかりやすく、スライドでも、1の場合の回答、2、3と、理解しやすかったです。今まで後見人という言葉や立場は、大まかにしか理解しておらず、できるものとできないものなど細かく分かれていることを知りました。また、同意書などもサインをもらったら終わりではなく、本人の意向を尊重し、その都度確認するようにしたいと思います。寺田先生のような相談できる方がいるととても心強いと感じました。